

聖籠町幼稚園教諭・保育士育成指標

ステージ 資質・能力		I 基礎形成期(1年目～5年目)	II 能力伸長期(6～12年目)	III 能力充実期(13年目以降)	IV 深化・熟達期(園長・副園長)
		教員としての基礎を確立する	教員として自立し、積極的に実践を積み重ねる	ミドルリーダーとしての資質能力の向上をめざし園運営に積極的に参画する	リーダーシップを発揮し、組織的に教育・保育を推進する体制を構築する
素養	愛情・情熱	○常に子どものより良い成長を目指し、愛情と情熱をもって教育活動にあたる。	○常に子どものより良い成長を目指し、愛情と情熱をもって教育活動にあたる。	○常に子どものより良い成長を目指し、愛情と情熱、さらに高い教育理念をもって教育活動にあたる。	○常に子どものより良い成長を目指し、愛情と情熱、さらに高い教育理念をもって教育活動にあたる。
	使命感・倫理観	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し誠実かつ公正に職務を遂行する。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し誠実かつ公正に職務を遂行する。	○園内に、法令等遵守の気運や誠実かつ公正に職務を遂行する風土を醸成する。	○園内に、法令等遵守の気運や誠実かつ公正に職務を遂行する風土を醸成する。
	向上心	○より優れた教員を目指して、研修等を通して自己研鑽に努め、学び続けている。	○より優れた教員を目指して、研修等を通して自己研鑽に努め、習得した知識や技術を業務に応用する。	○教職員の模範となるよう、研修等を通して自己研鑽に努め、園内研修において中心的な役割を果たす。	○一人一人の教職員の自己研鑽の場を確保し、園全体の研修を深める。
遊び指導力	子ども理解	○子どもとの積極的な関わりの中で、発達を理解し、適切な指導や支援をする。	○様々な情報に基づき、子どもの心情や行動を的確に理解し、一人一人の成長・発達の実態に即した適切な指導や支援をする。	○指導の経緯や多様な情報から子どもの状況を的確に理解・対応し、他の教職員からの相談に対しても、一人一人の個性を踏まえた適切な指導や支援の助言をする。	○子どもの個性を最大限に伸ばすための適切な指導・支援体制を園内に構築する。
	指導計画の作成	○子どもの実態に応じ、目的や意図を明確にした指導計画を作成する。	○子どもの実態や教育課程に対応するために、ねらいと評価を踏まえた指導計画を作成する。	○園の特色を生かし、発達の連続性・関連性や小学校教育との連続を見通して、創意工夫のある全体的な計画を作成する。	○地域の実態や園の教育活動全体を踏まえながら、全体的な計画を見直し、組織的に調整・改善を行う。
	仕掛けの構成本力	○子どもの興味や関心を踏まえ、動きや活動を予測しねらい及び内容を明確にして環境構成をする。	○子どもの興味や関心を捉え、遊びの展開に応じて具体的なねらい及び内容を設定し、遊びのプロセスを意識した環境構成をする。	○園内の研究主題に応じた効果的な教材や指導方法を工夫し、子どもの状況や発達段階を的確に捉えて環境構成をする。	○組織的な園内研究体制を整え、専門性の高いアドバイスをを行うとともに、園全体の環境構成の維持・改善に努める。
	かかわり力	○一人一人の遊びの状況を把握して、ねらいに向かう援助を適切に行う。	個と集団の育ちを意識し、遊びの展開に応じて必要な援助を適切に行う。	○子どもと見通しや振り返りを共有しながら、主体的な活動を促す援助を適切に行う。	○園内の教職員の経験や能力を考慮しながら指導助言を行い、保育力向上に取り組む意欲を高める。
	省察・改善	○子どもの姿や保育を振り返り、次の保育実践に生かす。基本的な指導技術の向上に取り組む。	○子どもの姿からねらいや内容を修正したり、環境を再構成したりし、指導に生かす。自己の専門性の向上、課題や苦手分野の改善に取り組む。	○教材や指導方法の研究と的確な保育実践により保育改善に努める。園内研究の充実・改善を図り、適切な助言をする。	○園全体の成果と課題をとらえ、改善策を考え指導助言する。
	集団づくり	○学級経営の取組方法を学び、子どもの実態を捉えながら適切に集団づくりを進める。	○学級経営の様々な方法をもとに、創意工夫をしながら実態に応じた集団づくりを進める。	○信頼される学年・学級経営に取り組み、学年の子どもの集団づくりをすすめる。	○園全体の子どもの集団づくりを推進する。
子育て支援力	特別支援	○特別な支援を要する子どもに対応する基本的な知識・技能を身に付ける。	○特別な支援を要する子どもの特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮をする。	○特別な支援を要する子どもの特性に応じて、計画的・組織的に対応する。	○特別支援教育の園内体制の充実に向けて、積極的に関係機関との連携を図る。
	家庭等との連携	○保護者と、子どもについての情報交換を通して良好な関係を築き、相談しやすい雰囲気をつくる。	○保護者の不安や悩みに寄り添い、受容的に受け止めながら適切に助言する。保護者に、教育・保育の意図を伝える。	○保護者や地域との連携を推進する。保護者に教育・保育のプロセスや子どもの育ち、学びの価値を伝える。	○保護者・地域・関係機関との連携を深め、問題解決へ向けての推進体制を構築し、組織として保護者を支援する。
組織運営力	園務分掌	○担当学年や分掌の仕事を着実に実行する。	○担当学年や分掌についてPDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルに基づいて主体的に実践する。	○各分掌のつながりを意識し、計画的・組織的に職務を遂行する。	○園の現状と教育資源の分析をもとにビジョンを明確にし、積極的に園運営に取り組む。
	協働	○組織の一員として協力し、仕事の進捗状況や重要な情報は、速やかに報告・連絡・相談を行い対応する。	○自分の考えを伝えるとともに、相手の立場を理解しながら対応する。仕事の進捗状況や重要な情報は、速やかに報告・連絡・相談を行い連携を密にする。	○担当学年や分掌の主任等としてそれぞれの立場を理解し、職員間の連携を図り、計画的・組織的に職務を推進する。	○教職員一人一人の良さを生かし、適材適所での活用及び指導をする。
	危機管理	○園内の危機を認識し、予防と対策を適切に実施する。	○園内の危機を認識し、予防と対応を迅速に行う。	○園全体の危機回避と危機対応を意識して取り組む。	○園全体の危機回避と危機対応に関する実施体制の構築と指導を行う。